

H23.7.9

## 大腸内視鏡検査



**長尾和宏** (ながお・かずひろ)  
東京医大卒業後、大阪大第二内科入局。平成7年、尼崎市で「長尾クリニック」を開業。外来診療から在宅医療まで“人を診る”総合診療を目指す。医学博士。労働衛生コンサルタント。53歳。ブログ (<http://www.nagaoclinic.or.jp/doctorblogger/nagao/>) が好評。

検診などで便潜血陽性を指摘される方が時々います。通常2回行いますが、1回でも陽性なら「陽性」と判断されます。よく「納得いかないのでもう1回やつてくれ」といふ方がいますが、1回でも陽性になつたことに意味があります。

## 血便、便潜血 放置しないで！

する施設、全くしない施設、少しだけボヤーとさせて検査する施設など、麻酔方法も施設によりさまざまです。最近は、本人の希望にあわせて麻酔法を選択できる施設が増えていました。胃の内視鏡検査が口からか鼻からかを選べること似ています。

「便潜血陽性の精密検査がいきなり内視鏡検査?」「そのギャップは何とかならないの?」とよく聞かれます。私は「血便」があつたおかげで命拾いした人をたくさん診てきました。怖がる気持ちも理解できますが、勇気を出して内視鏡専門医を受診してほし。

大腸がんは、がんの中では比較的おとなしい部類です。たとえ進行がんであっても、治療法にはさまざまな選択肢があります。3大がんのひとつである大腸がん克服は、まづ便潜血検査と大腸内視鏡検査から始まります。次回はそこでよく見つかる「大腸ポリープ」についてお話ししま

東日本大震災で中断している「便シリーズ」の2回目を再開します。でも便に混じっていることを再開します。検診などで便潜血陽性を指摘される方が時々います。通常2回行いますが、1回でも陽性なら「陽性」と判断されます。よく「納得いかないのでもう1回やつてくれ」といふ方がいますが、1回でも陽性になつたことに意味があります。

陽性者の精密検査は通常「大腸内視鏡検査」です。時に全身状態が悪い方、何らかの理由で内視鏡検査ができない場合は「注腸造影検査」を行います。これは肛門からバリウムと空気を入れる検査。どちらも10~20分程度です

が、「準備」に半日以上費します。内視鏡監査は当日朝、正確には、大腸内視鏡検査と注腸造影検査は準備(前処置と言います)が少し異なります。内視鏡監査は当日朝、約1800ミリリットルもの特殊な下剤を飲みます。数回目の排便が透明になれば準備完了。一方、注腸造影検査はもう少し

「優しい」前処置になります。

肛門から内視鏡を挿入した

ときに感じる痛さには、相当な個人差があります。気絶するほど痛がる人、何ともない人など、さまざまです。そこ

で麻醉で完全に眠らせて検査

もそう思います。最近は、CTで大腸を映すことも可能に

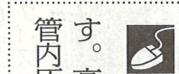
なりつります。話題の力

が透明になれば準備完了。一

つで内視鏡を入れます。

最も多い原因是、虚血性腸炎や痔核。もちろん大腸がんが見つかる場合も時にあります。大腸がんの大半は、直腸

は内視鏡でしかできません。ですから、最初から内視鏡専門医のいる施設を受診したほうが早道。この30年間の大腸



虚血性腸炎

大腸の血流障害により炎症や潰瘍が発症し、突然の腹痛、下痢、下血をきたす。高齢者や糖尿病、高脂血症、便秘、浣腸による腸管内圧の上昇などで発症する。

# Dr. 和の町医者日記

## 「便」シリーズ②

